

平成 26 年度議会懇談会報告書

1 はじめに

平成 24 年 3 月に制定した議会基本条例第 4 条の規定により、3 会場において議会懇談会を実施し、合計で 105 人の参加がありました。

今回の懇談会は、テーマを設けて「小学校の統廃合について」は、野田川地域・加悦地域で、「認定こども園について」は、岩滝地域で実施しました。

参加者の皆様からいただきました多くのご質問やご意見等を「懇談会に対するもの」と「議会に対するもの」等に分類し、アンケートの集計結果も併せて別紙のとおり報告いたします。

議会懇談会の実施に当たりまして、保育園（所）、小中学校の P T A 役員様、区長様をはじめ関係者の方々、御参加いただきました皆様には、多大な御協力をいただきまして心より厚くお礼申し上げます。

2 開催日程

平成 26 年 10 月 28 日・10 月 29 日・11 月 6 日（3 日間）

3 報告書の内容

- (1) 班編成及び開催日時等
- (2) 参加者の意見
- (3) アンケートの集計結果とご意見等
- (4) 今後の課題

5 参加者配布資料

学校等の適正規模適正配置に関する基本方針について
与謝野町内の小学校児童数の推移
子ども・子育て支援新制度 なるほど BOOK
議会懇談会アンケート用紙

議会懇談会 班編成及び開催日時等

1 班編成

(班代表者及び副代表者以外は氏名の五十音順)

1 班	2 班	3 班
◎ 家城 功	◎ 宮崎 有平	◎ 多田 正成
○ 安達 種雄	○ 塩見 晋	○ 和田 裕之
有吉 正	今田 博文	今田 博文
今田 博文	伊藤 幸男	伊藤 幸男
伊藤 幸男	江原 英樹	小牧 義昭
河邊 新太郎	高岡 伸明	勢簀 毅
	渡邊 貫治	藤田 史郎

◎ 班代表者 ○班副代表者

2 テーマ・開催日時・会場・担当班

テ ー マ	開 催 日	会 場	班
小学校の統廃合について	平成 26 年 10 月 28 日(火)	野田川わーく ぱる	1 班
認定こども園について	平成 26 年 10 月 29 日(水)	知遊館	2 班
小学校の統廃合について	平成 26 年 11 月 6 日(木)	元気館	3 班

※ 開始時間は午後 7 時 30 分

- 3 参加人数 1 0 5 人 (男性 9 0 人 女性 1 5 人)
- 野田川わーくぱる 4 5 人 (男性 3 6 人 女性 9 人)
- 知 遊 館 2 5 人 (男性 2 1 人 女性 4 人)
- 元 気 館 3 5 人 (男性 3 3 人 女性 2 人)

参加者の意見

Q：質問・A：回答・S：提案

◆ 小学校の統廃合について

■ 1班 野田川会場

- Q. 資料に基づき説明がしてほしい。
- A. (資料の説明)
- Q. 資料による今日現在の学校別の学年児童数が知りたい。
- A. (資料の説明及び追加資料を配布)
- Q. そんなに大きな減数でないので、旧町に一校にするのではなくやむを得ない学校のみ合併したらどうか。
- A. 平成34年には、町内一斉に旧町単位で進めたいという考えが町教育委員会にはある。34年の根拠としては統廃合が出来る体制が整うというふうに理解している。必ずそうかという現時点では未定であり、あくまでも予定であり方針である。
- Q. 昨年の町政懇談会において前教育長が早く合併したい学校があれば出来ると言ったが。
- A. 町教育委員会は地域から早くしてほしいとの希望が出れば、実際に出されてから協議検討すると聞いている。岩屋地区では現在今後についての協議がなされているとお聞きしているが、その場合は統廃合ではなく編入という形になる。
- Q. 江陽中学校も100人を切るが、小学校の統廃合は段階的にしてはどうか。スクールバスは足りるのか。先生の数は。子どもの立場や目線で協議を進めていただきたい。
- A. 子どもの目線、地域の考え等、議会としてより勉強を進めて行きたい。子どもの考え方、保護者の考え方、地域の考え方それぞれの考えをまとめることは大変困難であると認識している。十分な協議が必要であると考えている。
- スクールバス運行の通学距離基準は一応4kmと教育委員会では考えている。基準は4kmではあるが、あくまでも目安であって、環境や交通事情等によって距離の変更はあると聞いている。今後の検討課題の一つだと認識している。
- Q. 複式学級はあまり良くない。

- A. 資料については京都府の基準である。個人的には複式学級はよくないと思うが、どうあるべきかの真剣な議論と努力が必要。
- Q. この会合に多少の疑問を感じる。学校問題と議会との位置づけが理解できない。
- A. 議会の役割は皆さんのご意見をお聞きし行政に訴えること。
資料に基づいた説明しかできないが、最後は条例変更等の協議が生じるので、議会が認めるかどうかにかかっている。
- Q. 努力する点を出席者から聞き、町民の声を行政に届けるための会合ではないのか
- A. そのとおりです。初めの挨拶でも言ったつもりではありますが、説明不足であるのであればお詫びを申し上げます。本日は皆さんと一緒に頑張って勉強したいという考えであり、忌憚のない意見交換が出来ればと思っております。
- Q. なぜこの様に多くの人を集めたのか、各小学校区でするほうが良いのではないのか。今後は各地区でもやるのか。
- A. いろいろな規模の学校がある中、地区によって課題や問題を抱えている。他地区の方にも共通の認識していただきたいという思いがある。各地区での意見交換も委員会を中心に取り組み実施していきたい。
- Q. 校舎が古くなると周囲の整備もしなければならないが、その点は議会としてどう考えているのか。統合予定の学校の建設年は。
- A. (班長から3校の建設年について説明)
対応年数から見ても今後10年から20年の間に校舎の建て替えも必要になるであろう現状の中で、新たな校舎の建設、将来の必要学校数、いろいろな問題や課題を見据えた中で、今後議会として勉強し考えなければならないと感じている。
- Q. 新たな小学校の校舎を建て替えるべきだと思う。
- A. 参考意見としてお聞きしておく。
- Q. 岩屋小が市場小へとの話があるらしいが、地区でも私自身も何も聞いていないが。
- A. 教育委員会も何も聞いていないと思っている。岩屋地区においては、各分野の方が今後のあり方について、協議検討を進められているとは聞いているが、結論が出たとか、要望されるとかのところまでには至っていないと認識している。
- Q. なぜ市場小学校なのか。旧野田川の中でも一番古いし、スクールバスも入るような立地でもない。そういった状況も含めて議会では慎重に協議や勉強を進めていただきたい。

- A. 参考にさせていただく。
- Q. 平成34年度からの統合は決まっているのか。
- A. 現時点では、全議員の共通認識ではない。
行政では目途は立てて進められているが、未定な分野や変更される分野もあると理解している。議会としては、少し遅い取り組みになるが行政と平行し、協議検討を進めていきたい。
町の方針は、与謝野町教育・保育環境検討委員会のまとめが基本になっていることを付け加えさせていただいておく。
- Q. 平成34年に一気に統合は危険ではないのかと思っている。モデルケースで編入を繰り返しながら、最終的には一つに統合するような形が良いのでは。必要などころが必要に応じて対応していくことの方が先決では。
- A. 今後の参考にしていきます。いずれにしても学校の統廃合は非常に難しいと感じている。慎重な検討が必要であると認識している。
- Q. 地域も保護者もこの問題については考えている。議会でも取り上げていただいたことに感謝する。町民の共通の課題として認識していただきたい。
- A. 議会でもしっかりと取り組んでいきたい。
- Q. 小学校の耐用年数が50年ではなく65年くらいとあったが、間違いではないのか。
- A. 加悦中学校については耐震補強も何もされていない状況下にあった。小学校は耐震基準に到達している耐震補強をしているので、少し長めの年数で説明させていただいた。
- Q. なぜ今回のテーマを「小学校の統廃合」に絞ったのか。
- A. 井田区長が議員の時に議会基本条例が作られた。11地区を回ることも考えたが、6月に町政懇談会を行われた中で、議会も続けて開催するということが疑問を感じた。そういった中で、今回は旧町単位3箇所での開催とさせていただいた。また今回のテーマについては、議会基本条例の中の「政策提案できる議会」を目指すために、多くの町民の皆さんのお声を聴く機会として、現在小学校の統廃合問題が不透明の中で、このタイミングで皆さんの意見をお聞きすることが望ましいと判断をした。議会基本条例をまとめたいただいた先輩ですので、不満があることは理解できるがご了承いただきたい。
- Q. 町内の中学校についても議員各位の考え方をお聞きしたい。
- A. まずは小学校の統廃合、次に中学校という考えが町にはある。まずは小学校の協議が必要ではないかと感じている。
- Q. 統廃合は、結果後ろ向きな考えである。将来予測が大きく変わるような人口増などの施策をもっと前向きに考えることも大切では。
- A. 議会としても努力して行きたい。

■3班 加悦会場

《質問・回答》

- Q. 財政問題を考える上で、まず庁舎問題はどうなっているか。本来そこから考える問題であり、小学校区で思いがいろいろ違う。小・中学連携一貫教育が教育長の判断でできるが、この辺の議論はどうなっているのか。
- A. 山添町長は公約で任期4年の内に、一定の方向付けができればと発言されており、前進するのではと思う。財政問題というより、子ども目線で進めていくべきだと考えています。
- Q. 前回の温江区の町政懇談会でも、この問題は今考え中であると、今日の議会懇談会でも何ら進展した内容ではない。これでは答えが出ないのでは。
- A. 平成34年に一斉に統合したいという、これがひとつの行政の基本の考え方だと理解していただいたら結構だと思う。
- Q. 統合したとき加悦小学校が一番低い。将来統合するならもう少し高地に建てるべきであり、学校も取り壊すのではなく、保存方法や活用方法も考えるべきで、教師の給与が一番町財政に響いている。
- A. 意見をどんどん言っていただいて、思いを聞かせていただきたい。
- Q. 庁舎の問題も解決していないのに、子供の環境はこうしたいというのは勝手すぎだ。統合はやむを得ない、日本全国どこでも減っていく。しかし、増やすことは考えていない。統合して教育環境が良くなったか、人が増えていくのか、活性化したのかその辺も良く調べてほしい。少人数はダメだ、小さい学校はダメだと言われるが、私はそうは思わない。あと教師の給与は町財政からは出ていない。
- A. 増やすこと、アイデアを出そう、そういった意見は聞いたことがない。確かに良い意見であるし、我々もできる範囲で努力したい。
- Q. 統合されているところの現状はどうか、視察とか議員はできるだけ情報収集をしていただきたい。メリット、デメリット的なことも示してもらおうような議会懇談会をしてもらいたい。行政はなかなかデメリットは言わない。
- A. メリット・デメリットも十分調べて取り組んでいきたい。
- Q. 統合はやむを得ない。資料にもあるようにこれが前向きな姿勢である。議員はもっとまとめてから議会懇談会に来るべきである。
- A. 政策提案できるように謙虚に耳を傾ける必要がある。これが我々議員として、議会として一番大事な立場だと思っています。
- Q. 統合は子供の目線、何が大事で、どうするのが良いか考えるべき。複式学級の話があるが、しっかり子どもや親の意見を聞いてからでも遅くはないと思う。

- A. 我々ももっと研究していきたい。
- Q. 統合はされるものだと思っていたが、意見によっては、延びたり早くなったりということもあり得るのか。
- A. 町長選挙で、町長は平成34年で統一的にやることはないと言われた。後になることもあり得るし、複式学級を一つのベース考えていく、そうした方針も出されている。

《意見》

- S. 統合に関する一斉アンケートを全戸配布でやってみてはどうか。
- S. 統合のメリット・デメリットがわからない。議員か行政で特別なチームを作ってもらい、データ収集等をされて町民に示してもらいたい。
- S. 親御さんの意見をしっかり聞いていただき、総枠ができてから話をしていただき、意見を求められた方が有益ではないか。
- S. 統合はアンケートで多くの意見を吸い上げ、校区を小さくしてやるなど考えてほしい。

【認定こども園について】

《意見》

- S. 認定こども園など、保育所・幼稚園こそ少人数の方が、手厚い先生の保育（教育）が受けられるので良いのでは。

【行政への質問・意見】

《意見》

- S. 桑飼小学校のグラウンドにあがる法面の大きな大木が、いつ倒れてもおかしくない。教育委員会に申し出ると30万円程度かかり予算がないと言われた。そんな予算も出せないのか。事故が起きてからでは遅い。
- S. 加悦中のプールがなくなる。小学校でもプールを使ってない。これでは、泳げない子どもができ、有事の際に身を守れない。
- S. 来年で「デジアナ変換」が終わるが、それと同時にブラウン管テレビの不法投棄が増えると危惧する。町が回収するように動いてほしい。

◆ 認定こども園について

■ 2班岩滝会場

- Q. 認定こども園はどこまで決まっているのか、どういうふうに進んでいるのか。
- A. 民主党政権の時、国の経済対策として決めた、2%の消費税が決まってこない、しっかり予算が入って来ない、とりあえず、岩滝の幼稚園の所に認定こども園を平成29年度に建てたい、そこに200人規模の物を建てる。金額的には5億円程度のものでほかのことは決まっていないこれからです。
- A. 保育料の方は平成27年度からの適用になるようです。
- A. 保育の環境として、幼稚園と保育所を合わせて認定こども園にするということ、今のところ国の基準どおりに出発させて頂くということ、保育料については子育て会議の中で具体的な答申を受けて決めていく。
- A. 最短の計画として平成27年度に基本計画を平成28年度に実施計画で進んでいるが、法律的な部分で国の方でも改正があつてまだ協議が進んでいて変わっていくところがある。今のところ、岩滝の幼稚園は老朽化が進んでいるので一本化を図りたい中で、一番早く岩滝に認定こども園の設置をしたい方向で進んでいる。他のことはまだ何も決まっていない状況の中で進んでいる現状ですので、皆様の意見をお聞かせ願いたい。
- A. 今年度中には子ども子育て会議で答申が出ると聞いている。
- Q. 保育所、幼稚園の金額に違いがあるが、入園した時の料金が、卒園するまでのベースになるのか。
- A. それはまだ全く決まっていない状況です。
- Q. それにどのように対応されるのかが皆さん不安に思っておられるので、今の時点で考えておられることはありませんか。
- Q. 質問されてもわかりませんでは、議員さんがわからないことを意見を言えと言われても、意見の出しようがない。もう少し議会の方でピシッと説明をしなければ、意見を出したくても出せない。わからない、わからないでは、わかりません。きちっと整理した上でやってもらわないと質問される町民の方は困っておられます。
- A. 今、子ども子育て会議を立ち上げて委員19人で進行中である。その中身を申し上げることが出来ますので、そのことで意見がありましたら、皆さんの意見が拝聴したいということです。
- Q. お願いとして、幼稚園や保育所との内容の違いや保育料・費用的なことの不安がある。現状で十分やっていける人数である。岩滝にするのは大人の都合？子どものことですかね。
- A. 岩滝のみを認定こども園にするのではなく、町内で統一した対応の認定こども園

も園にしていく計画で岩滝幼稚園が耐震のこともあり最初になるということです。

Q. 岩滝の児童館はどうなるのか。

A. 岩滝の児童館は大変いい施設であるが、福祉課長の答弁では学童保育が出来次第廃止とすることになっている。一番の理由は老朽化ですが、3町が一つになって児童館があるのは岩滝だけなので、他の地域とバランスが取れないので廃止を検討している。

A. 先程のなぜ岩滝がとのことですが、これは学校の適正規模・適正配置の基本方針について、町は教育保育環境検討委員会に諮問をしているが、その時には幼稚園は2つあった方が良いのではと答申されている。認定こども園については、平成25年の子ども子育て会議に幼保再編を含む就学前教育・保育のあり方についての中で、検討をされ与謝野町の2幼稚園と保育所の8園を諮問のとおり幼保連携型認定こども園の整備を進めていくことに異論はないとの答申を受け進めている。

Q. 児童館がなくなり学童保育になると男山からだと遠い、夏場に学校の帰りにお茶が飲めるのか、学童保育はお金を払っていない人は寄れないのでは？

児童館の良さがあるのであれば、それを他の地域にも進めればよいのでは。

A. よくわかりますが、廃止を目的とするのではなく新しい形で、進めていくということです。

A. 児童館のことは、認定こども園ができた後は、その役割を岩滝保育所で利用して行うと聞いているが、認定こども園の人たちは学童保育には入れません。認定こども園の中で、保育としてお預かりをする。

Q. 岩滝幼稚園のPTA役員(町の職員で言いづらい事もあるが役員の立場で)保護者に連絡をして出席されない方の意見を聞いて意見集約をしてきた中で、幼稚園教育のみでも良いと思う家庭の人は今の制度と変わりなく利用できるようなシステムになれば良い。利用料金や降園時刻のメンテという意見がある。利用料金はいくらになるか。岩滝にとってなじみのある児童館廃止を、なぜしなければならないのか。住民意識調査等は町役場でしたのか。利用料金が高くなる、退所時刻が早くなることなどについての意見が多く、関心の高さがあった。

昨年の町政懇談会の内容を聞いて、デメリットばかりで不安を感じるとの感想が多かった。保育料と児童館に一番の関心を持っている。

ある程度固まったところで情報提供を受けて、前PTA会長とも情報共有をしていきたい。現状の報告をしておき、今夜のことも会員に報告をしておきたい。

- A. このことは持ち帰り委員会の中で討議して、お返しをしたいと思います。
- Q. 議会の答弁の中で、認定こども園と学童保育の認識が違うのではないか、幼稚園と保育所と学童保育は、関係がない、学童保育は小学校低学年が行くところ、一部では幼稚園の方も行っているが主は学童が行っている、認定こども園ができるから学童保育は廃止して姿を変えましょうは筋違いと思うが。
- A. この地域には、幼稚園と保育所があります。幼稚園が老朽化をしているので取り壊しをして新しい建物を建てたいということです。新しい建物を建てると同時に、新しい制度の認定こども園と位置づけて、子どもさんを預かりたいということです。そうすると今の保育所が空いてくるので、そこは壊さずに使いたい。今の児童館については老朽化したので取り壊したいというのが今の町の方針です。
- Q. 建物を建てて認定こども園にすると、今の保育所を移動するというのならわかるが、先程までは、認定こども園をするから学童保育を廃止するというように聞こえた。
- A. 児童館は学童保育ではありません。岩滝地域は非常に便利なことになっていますが、他の地域と比べた時にどうでそんなええ目をしているのかという声も議会の中でもあり、平等にしようという考えもある。
- Q. そんなんおかしい。岩滝のが、ええんだったら他の地区にも進めるべきと違うのか。なんでもかんでも野田川のようになっていくのがええとは限らへん。
- A. 当然そういう意見も伝えていきますが、現状はそうなっています。
- Q. 議会と意見交換をして保護者の意見を聞きたいのであれば、こういう会場ではなく保育所や幼稚園の保護者会などに出向いて意見を聞くのが大事なのでは？こんなに何も決まっていなことをやっても意味がないと感じています。
- A. この問題は、住民的課題であると思っていまして、確かに関係者の方に直接会って意見を聞くことはもっともですが、地域的課題としてテーマを決めたので、関係者だけの声に委ねるのではなく皆さんの意見を聞きたい。
- A. 4月に議会に入らせてもらった時点で、岩滝に平成29年末に認定こども園を作ることは既定の事実であった。これは国の方針でもある。議会としては決まったことを質問されて応えるのにはそんなに時間はいらぬ、私の立場としては皆さんと一緒に内容について理解をしていきたい。皆さんと一緒に話しながから、行政と詰めていきたいという気持ちです。町づくりはPTAだけではなくみんなと議論し、考えていい町にしていきたいと考えている。全く決まっていますが、基本的なことは出ていますので皆さんと話し合いながら詰めていきます。
- A. 補足ですが、料金の問題でも決まっているのは国のフレームであり、それよ

りも、できるだけ少なくなるよう素案をつくる段階にきていると思うが、我々にはまだオープンにはなっていない。詳細には決まっていないので、疑問を率直に聞かせてもらって要望をまとめて行政にも伝えるべきだとの立場で懇談会をやっているので、十分答えられないことはたくさんあると思う。議会に持ち帰って十分煮詰めていきたい。

- Q. 私の子どもは幼稚園で、2年保育所、1年幼稚園で来年小学校に上がる。幼稚園、保育所それぞれにいいところがあって、それを一つにまとめることは難しい問題であると思う。保育料の関係で幼稚園に行かせたいが、親が共働きのため早く終わる幼稚園には迎えに行けないので保育所に行かせる親御さんもある。家庭の事情で祖父母のいる家は幼稚園に行かせられるが、核家族で、昼間迎えに行けないところは保育所になる。この実態を十分に検討して、保護者の方とも相談をしてほしい。
- A. そういった面でも、議会は今後検討していきたい。
- Q. 建物は新たに建設をされるのか。現状で岩滝幼稚園の定員105人に対して半分、保育所180人に対しても半分ぐらいの利用であるが、こども園に対しては現状の子どもの出生の数で200人規模としているのか。
- A. 私が聞いていたところによるとそういう感じで、現在150数名が来ている。将来的に増えても200人ぐらいは必要かなとみている。
- Q. 与謝野町全域でこども園が出来ると思うが、その人の数が入れる確保ができていくのか？今後子どもが増えていく予定にどうしたらできるのか、2040年には日本全体の数が減ると言われている中で、地方は厳しいと思うがどうして増やせるのか都市計画をしっかりとやってほしい。
- A. 建物の件は今の敷地面積の中で、全部をできたらワンフロアー（1階）にしたいという基本的な思いはあるが、まだ研究段階で、2階建てになる可能性もある。
- 子ども子育て会議の中では2階建てになるのなら、エレベーターを付けてほしいとの意見があった。クラスの人数により園児と保育士さんの数は国の基準がある、0歳児は園児3人に保育士1人だが、それを2対1にして欲しい。1歳児では6対1だが、3対1にして欲しいとか、保育士さんを多い目にしてほしいという希望もあった。そうすることはなかなかないが皆さんのご意見がありましたら我々も努力はしていく。送迎は、バスを回すか保護者が送っていくのかの議論があったが、送迎時に保育士と会話が交わせるようにできるだけ保護者が送って行くのがいいとの意見が多かった。
- Q. 議員さんをお願いします。議員さんはほとんど子育て会議にみえていない、来て頂いていたら先程来の話は大体出ていると思います。ここには会議のメンバーが何人かいます。

国の法律で 10%になればこうなるとの話で 8%だとどうなるの、会議の中で質問をしたらわかりませんでした、決まっていなかったことがたくさんあり過ぎ、なんです。

議員さんがこれだけの時間を岩滝にぶつけて来られるなら、もっと会議に出てきて、内容を吸収して頂きたいと個人的に思いますのでお願いをしておく。

- A. そういう意味では申し訳ないと思います。言い訳になるかもしれませんが、通知はいただくが、他の用事と重なることが度々あり行けてないことは申しわけないと思っている。帰りましたらできるだけ行こうと言わしてもらおう。
- A. 私も初めて前回の会合に出させてもらったが、徹底的に討議をしておられた。その中でこれはと思ったのは、新しく与謝野町へ来た人が、私は与謝野町へ来たのだ、なんであなた達はいつまでも岩滝だ、野田川だ、加悦だと言っているのか、そんなこと私は知りませんよと言われた発言はほんとにいいと思った。なんで認定こども園を3つしなくてはならないのだ。これも町全体の考え方だが、私はもっと新しい視点で教育行政を見ていかなくてはならないと思っています。
- A. 今日は記録係で内容には余り入っていませんが、私は、前は案内をもらっていましたが、常任委員会の行政視察で行けませんでした。今までは、かなり行かしてもらっているつもりです。皆さんそうですけれども、地域の用事があつたりして行けてないことは確かですし、行っても、議員の顔が見られないと感じてはいます。会議の中で委員さん達が、子育てについては、第一義的な責任は親にあるとの考え方の元で一生懸命議論をされていることは、頼もしいなどの思いで聴かせてもらっていますので、行かせて頂く議員の数が少なくても一生懸命やって頂きたいと思います。
- Q. 今日の議題の認定こども園は、焦点化されている議会懇談会であるのに、ここにおられる皆さんが認定こども園の概念を、基本的にどこまで持っておられるのか。言葉だけ知っていて、中身を知らない方もおられると思う。そういう中でご意見をと聞かれても何を質問して良いのか、わからないのでは。ここは議員と町民が学ぶ機会とするのであれば、その前提がなければ意見も出せない。
- 一定の同レベルの基本があつての会議にしないと実のある懇談会にならないのでは、との感想を持った。今後きちとした準備の会議が望ましい。
- A. 大変貴重なご意見を頂きました。説明が十分できていないことは申し訳ございません。
- A. 我々の感覚でご意見を拝聴したいとの思いばかりで議会懇談会をお世話になったと思っている。認定こども園の初歩的なことをご理解して頂かない

と質問もないのかなと思いました。

我々は、頂けるものと一方的な思いで来させて頂きました。今後テーマを絞ってする場合はもう少し丁寧な形で臨みたいと思っています。

※ その他の意見

小学校の統廃合の現状

- Q. 岩滝地区でないところで小学校の統廃合の話が出ているがその概略を教えてください。
- A. 議会基本条例の議会懇談会の過去の説明。小学校の統合は平成34年にはできる環境が整うので、できればやりたいという方針であります。野田川と加悦はこのことで回らせてもらう。
- Q. 岩屋小学校は1つの学校に集約されるのか。
- A. 今の岩屋小の状況は、児童が少なくなっていて、平成34年を待たずに近所の学校へ統合をしたいという親御さんたちの希望があり、区の中で協議会を立ち上げて議論をしている段階で、複式学級になる平成28年からの統合をとの話はあるが、まだ地域の中で結論は出ていない。
- A. 小学校全体のことは平成34年度を目途に旧各町に1校の小学校とする計画であるが、予測では子どもの数が減るとしていたが、現在、予測ほど減っていない現状がある。小学校についても未定の部分がある。
- Q. 議会懇談会の基本的な問題について申しあげたい。老婆心ながら一言申し上げる。議会懇談会を知ったのは広報よさののお知らせ版です。それを見て失望をしました。なぜ3会場にしたのか、なぜテーマを絞り地域で変えたのか、学校も認定こども園も同じ町の問題である。このことについて疑念を抱いた。議会基本条例の目玉は議会懇談会である。町民と議会との接点が議会懇談会の目的であり、議会が活性化を図り町民の信頼を得るために、町民との闊達な意見交換をするのが議会懇談会である。子育て支援は大変な問題で必要だと思うが、それは別の意見交換会でやったらいい。
- ですから、議会懇談会は町民の意見や要望を吸い上げていく場と理解をしている。議会基本条例4条の6項には、「議会は、説明責任を果たすとともに、町民の町政の諸問題に柔軟に対応するため、議員及び町民が自由に情報及び意見を交換する議会懇談会を開催する」となっている。この趣旨を見て疑問に感じた。要望として、来年度は町民の皆さんと住民と自由に意見交換のやれるようにしてほしい。今日のこういう懇談会は意味がないと思う。
- A. 毎年同じ形で11会場を回るのが本当にいいのかとの思いがあり、議会で議論をして、今年については4月に選挙があり、山添町長が誕生しました。新町長は11会場を7月に回られた、今10月であります。また同じような

形で議会が回らせて頂くのがいいのかなと考えた時に、今年は違った形でさせて頂こうということになった。

小学校統廃合と認定こども園が町の大きな課題としてありますので、町民の皆様のご意見を拝聴したいということで、我々の勉強として皆さんにはご不満があったと思いますが来させて頂きました。与謝野町で最初に認定こども園に取り組んで頂くのが岩滝地域なのでこのテーマでやることに決めました。他地域の認定こども園や学校の統廃合を合併特例債の使える年限にできるのが私の思いであります。私のお答えについてはご不満もありませんが、今年のところはご勘弁を頂きまして、来年以降については11会場を回る約束をと言われたが、出来るだけ努力をしていきたい。

- Q. 今年は新人議員が多くある中で、11会場を回ってほしかった。住民の中にもっと入ってほしかった。

当日アンケートのご意見・提案等

■ 1班 野田川会場

《懇談会に対する意見》

- 資料の説明の仕方が悪い。答弁が少しずれている。
そもそも議会として、何を町民から聞きたいのか、最初にもっと絞って説明すべき。教育委員会の方針に対する町民の声が聞きたいのか、議会（員）として自分たちの勉強のために、何でもよいから声を聞かせてほしいのか、などなど、参加者がわかりにくかったのでは。答弁を聞いていて、皆混乱されている様子。
- 教育委員会や議会の中で、今日までに決まっていることがあると思って来たのに何もなかった。中学校が統合される場合は、加悦中に統合ありきで話し合いがなされているのか。
- こういう大きな場所では、意見があっても上手くしゃべれない人には、億劫になるのではないか。地区ごとで、膝をまじえた形のほうが、意見収集できるのでは。
- 資料の準備不足
町民の意見を聴く姿勢であることを十分認識すべき
各地区（小学校区）を回るべき
議員の説明が長すぎる。町民の意見を述べてもらう時間を多くとるべき。
- 地区ごとに意見を聴き、将来スムーズな統合を目指してください。
- 行政責任のない議会が答弁することが無理ではないか。
参加者の意見を聴き、今後の議会活動の参考にされるべき。
岩屋小の対策を早急に議会より行政へ。
江中→加悦中へ 江中跡—小学校統合 加悦中—江中統合 加悦中跡—加悦合同小
- なかなか難しい問題であるとは思いますが。
それぞれの校区の意見や、子ども達の意見など聴く機会を開いてほしい。
- 現在小学生をもつ母親です。こんなかしこまった席ではなかなか意見が出せません。本当に意見が聞きたいのであれば、もっと小さな単位で懇談会を開いてほしい。
- 議会においても認識が一致していない中、質問を受けるのははなから無理である。今回のテーマは行政との懇談が良いと思う。

- 資料が足りなかった。女性の意見が出なかったのが残念。
次されるとすれば、今のパターンだと尻すぼみする。他地区との感覚が違うことにびっくり、それがわかっただけでも来てよかった。
なんでもどうぞというのは逆に言いにくい。
- 資料説明なく質疑など会社ではありえない。
決定判断する者がいない中で論議しても議論にならない。
重要な案件であるなら、もっと情報開示が必要。まったく不透明である。
- 学校の再編については、もっと子どもの立場に立って議論してほしい。
- 区長が言われたように、懇談会の意味が不明確と感じた。一般参加者の中には、議員の答えが町の方針（決定）と勘違いされる恐れがあります。（後半の説明で理解されたと思います）
- 地区ごとに懇談会をしてほしい。小学校は新校舎が良い。
- 子育てしやすい環境づくりが必要。人口増加につながる環境づくり。
- 話がだまか過ぎて、いまひとつ理解に時間がかかりました。各地区、保育園、学校等で意見を聴いたり、全住民にアンケートをとり、その意見をまとめた上で、このような懇談会をすれば良い。各地区で開くのも良い。
京都府、教育委員会などは決まりが多く難しいと思いますが、保護者の意見をどんどん上げてほしい。期待しています。
一クラス 35～40人は子ども達の勉強しやすい環境ではないと思います。20人がベスト！ 35～40人のクラスになるなら先生を2人つけてほしい。
今、20人程のクラスで補佐に入っている先生に教えてもらいありがたいと思う。
統合の学校一市場小を新しく校舎を建てるのか。駐車場、スクールバス等しっかりとしてほしい。
平成34年度を目途となっていますが、その都度意見を聴きながら、進めたら良い。
- 何を目的に開かれているのか良くわからなかった。数字で話をされると子どもが置き去りと感じた。テーマが大きくて話しづらい、意見を言いにくい雰囲気。もっと実りのある懇談会であつたらと感じた。
子どもを片道4kmも歩かせたくありません。無理があると思います。
- あまり意味のない懇談会だと思いました。子どもの立場で考えて統廃合してほしいので、よろしくお願いします。
- ひざをつき合わせての話がしたかったです。
- 質問に対しての回答が合っていないので、内容がわからない。
- 議会が独自の資料を作成すべきではと思います。

- ・話を聞いていただきました。できればもう少し、こんなふう？こういう考えなど、話をしてほしい。
- ・統合については、もっとじっくりといくべきだと思います。必要な学校から考えて、実施してはどうでしょうか。一気に実施すると問題がたくさん出て、身動きが取れないと思います。視察された際 20 年統合にかかった話はわかる気がします。
- ・お疲れ様でした。やっぱり重たいテーマですね。
子ども子育て会議でも”ゼロベース”で議論していきます。子ども目線で・・・

《議会に対する意見》

- ・地域の産業が豊かになり、若者が地域に留まって、元気に働ける場所がなければ、過疎化がもっと進んでいく。人口増、子育て支援に力を入れてほしい。
- ・議員の資質に疑問を持つ！！
- ・いろんな問題があると思いますが、優先順位を決めてこういう懇談会を開いていくべきだと思います。
- ・いろんな意見を聴きたいのであれば、町民にアンケートをとってください。結果も公表してください。
- ・もう少し勉強して、会議方法、進め方をされたらどうですか。
お金（予算）の詳細説明をされ、議会としての方向性、統一性が感じられない。
「決まっていない」「わからない」を連発していたが、それならなんの議会なのか。
- ・子ども達が大人になったとき、この町で暮らしたいと思えるまちづくりが願いです。
- ・子どもの気持ち、保護者の思いを重複してほしい。
平成34年統合を目途とする場合等、学校区、行政区の縛りを外しても良いと思う（行政は与謝野町で統合しているため）。小・中一貫校も念頭に入れても良いのでは。
- ・話をしっかりと詰めてやってほしかった。
- ・将来本町を支える子ども達のため頑張ってください。
- ・政策立案、政策提案を目的とした懇談会は、とても良いことだと思います。今後ともよろしくお願いします。

■ 3班 加悦会場

《懇談会に対する意見》

- ・ 議会でも積極的に議論すべきことを進めていってください。
今日の内容についても、早速に検討していただきたいと思います。
- ・ 懇談会中に後部席で、ずっとしゃべっている議員がいた。モラルのなさ、意見を聞くといいながら、聞いていないとは、どういうことか。
- ・ 現場（保育園や小学校）へ出向き保護者の生の声を聞いてもよいのでは。勉強になりました。
- ・ 皆様、もっと勉強して下さい。
- ・ 大事な統廃合問題を議会に届けるには議員が少ないと思いました。議員を増やしたらどうですか。
- ・ 議会が、このような懇談会を開催しているのは、とてもいいことです。町民の声を聞こうという姿勢を今後共持ち続けてほしいと思います。
- ・ 議会だよりはとても読み応えがあります。KYTでの議会の様子も良くわかり、いいです。日本に誇る町議会になることを期待します。
- ・ 与謝野町を「よざのちょう」と言う議員がいますが、与謝郡は「よざぐん」
与謝野町は「よさのちょう」ではないですか。

- ・ 皆さんの意見が聞けました。
ただ内容と参加者にギャップがあるようにも感じました。
- ・ 進行が少し悪いような気がしました。
基本方針についてどう思われるかという問いかけが良かったのではないのでしょうか。
- ・ 資料は人数のみで教育環境、生活基盤について等の資料の添付が必要。
増やすことの定義が必要との意見に賛同します。
議長の答弁が行政の意見になっていた。
- ・ 的外れなところも多々ありましたが、町民の方はそれぞれ言いたいことがたくさんあるようなので、話をよく聞いてあげる機会を増やすと良い方向へいくのではないのでしょうか。
- ・ 時間的な問題か、案内の問題かわかりませんが、女性の参加が非常に少ないことに違和感を感じました。
- ・ 毎年の可能な限りの関連情報を提供して年一回でも開催されたい。
- ・ 必要に応じてやればよいと思う。
いろいろな考えが聞かれて良かったと思う。
- ・ テーマに関連した人を、もっと集めるべきだと思う。

- ・ 初耳でした。ともかく討議する内容が広範囲すぎて簡単にできない。
- ・ 保護者や子供、町民がまちがいのない判断をするための材料を示してほしいと思いました。又、人を増やすことを考えるのが大事だと思いました。子供を増やす努力がないので、町の活性化には全くつながらないと思います。一つのことをすれば、賛成もあれば反対もあります。又、いいことばかりでもなく、短所もあります。やすきに流れるのではなく、苦勞してでも「残す」ことを考えてほしいと思いました。みんなの知恵を出し合いましょう。膝詰めの話ができるよう、年代別、地域別など、たくさんの人々が話のできるように懇談会の持ち方を考えて下さい。

■ 2班 岩滝会場

《懇談会に対する意見》

- ・ 情報が少ない中で、答弁がない分があった。
- ・ 政府作成の資料をいただいたが、これは日本全国のアウトラインでしかないので、これを基にした「与謝野町では、こんなふうにする、もっと良い」といった対比できる資料を提示できるようにお願いします。
- ・ 答弁者は誰が責任を持ってするのか、事前に詰めておくべき。(入れ替わり、補足しますと答弁者が代わり、十分な答弁になっていない感じ)
- ・ 質問の趣旨をしっかりと把握して答弁してあげて欲しい。(質問答弁がすれ違っている感じ)
- ・ 議員が誤解していたり、勉強不足(児童館、子育て会議)、出席者に迎合している。
- ・ 認定こども園についての論議がなかった、無意味な話ばかりでした。もう少し前もって、資料の配布をして欲しかった。
- ・ もっと利用者目線での議論にして欲しい。また、保育園児や幼稚園児の立場でいい認定こども園にできるよう親の都合ではないことを明確に打ち出してほしい。
- ・ 認定こども園について、何も決まってない現状で、なかなかやりとりが難しい中でいくつかの要望はさせていただきました。
- ・ すべての方が、納得することは難しいですが、子どもは未来の宝といえますので、本当の良いことは何なのかを考えてほしい。
- ・ 消化不良のような感じ。
- ・ 初めに認定こども園のイメージづくりがほしかった。質問の出しようがない(内容がわからないから)

- よくわかりませんでした。
 - こども園がテーマなのに議員さんが、こども園のことを全く理解されていない。
 - そもそもなぜ、岩滝にこども園を作らなければならないのか？
 - 国の政策に則って作るとの意見があったけど町民は賛成しているのか？議員さんは、もっと意見を聞こうとして欲しいと思った。
 - 議会資料の中に小冊子、なるほど **BOOK** を見ながらしていただけたら、もっと議事が理解できたのではないのでしょうか。今後の良い議案を、皆さんで論議していただきたい。
 - 行政は…ということばかりで、子どもや利用する立場を、理解して頂いてほしかったです。
 - 結局は、行政ありきであるんだなあと思いました。
 - なるほど **BOOK** より、与謝野町に合わせて作って頂いた資料を、用意して頂きたかった。
 - 認定こども園の内容がある程度しっかりしたことが、決まっていないのに、町民の方に聞くとと言われても、もうひとつわからないことが多い。懇談会もあまり意味がないように思われる。意見も出にくいと思われる。
 - 議員の返答もわからないとか、言われる懇談会は意味なし。
 - 議会基本条例の主旨にそった議会懇談会にすべき。会場も可能な限り多く、自由な意見と交換する懇談会とされたい。以って議会の活性化を図り、町民に信頼される存在感のある議会となることを望む。
 - 専門性の高い個別の事案については別途、議会と関係者による意見交換会をすべき。
 - 司会の方が説明される内容について、ペーパーにまとめた資料を、配布される方がわかりやすいのではないのでしょうか、基本的に決定事項について。
 - 質問に対する回答は、わかりやすく明確に回答できるよう、準備をお願いしたい。（三人の母親からです）
 - 話し合いの場でしたが、十分な説明や現状の様子も話されずに、意見をお願いします…と始まりました。何から聞けば良いのかと戸惑いました。質問をすれば、行政が…とか国が…と言う返答で、質問していることと違う答えばかりでした。
- 議員の方々のこども園に対する理解もあまりない様な中で、こども園について話し合う場ではなく、残念でした。町民の声を…、よりよい町づくりを…、と口では言っておられましたが、行政ありきで、町民どころか、よりよい町になる様には程遠い気持ちがしました。
- 意見を言っても、野田川、加悦、岩滝とそろえないといけないから児童館は

廃止します!!と言われ、それでは良い所に合わせて、考えてほしいとお願いをしましたが…結局は、どんどん住みにくくなる町づくりだと思います。

- 子ども達や、そこで生活している人達の為にといいより、行政や国が…と言われ、何の為にこども園が必要で、こどもの為なのかが全くわかりませんでした。
- 一番びっくりしたのは、こども園の会議に参加もされていない議員さん達が前に並ばれて、議会懇談会をされ、テーマがこども園だったことに、驚きと残念な気持ちで一杯でした。
- こども園については、夜だけでなく、保育所や幼稚園でも親子さんの声を聞いてほしいと思いました。
- 議員の方々の勉強不足・説明不足のため、こども園の内容（保育の時間帯、保育料、教育方針など）が見えてこず、質問、意見のしようがなかった。
- 幼稚園、保育所内で意見交換をするのも良いと思います。
- こども園、現時点でわかっている情報公開して下さい。
- 国政のこども園のプランでは無く、現時点で良いので岩滝こども園ができるにあたって確定していることや、もっと具体的な内容が知りたかった。
- その情報を提供してもらってからでないと、こちら側から言いたいことも言えない。
- 基本的に考えて、国の料金は高くなるし、降園時間も早くなるのでは、幼稚園に通わせている親の身になれば、こども園が納得できるものにならないと思う。
- 昨晚の懇談会に参加して、与謝野町の子どものことを考えて作られるこども園ではなく、国政に則ったマニュアル化したこども園の様な気がしてよい不安になった。
- どの親や子どもの希望どおりにするのは、無理だと思うが、幼稚園児の明らかなメリットが欲しい。

《議会に対する意見》

- ・ 認定こども園に対するデメリットが目立ちすぎており、問題点を整理してクリアしていく必要があると感じました。
- ・ 「懇談会をやった」という結果だけが、必要な会合であるように感じた。深い対話をするならテーマとなる内容の事前学習を議員の方々にしてもらいたいと思いました。
- ・ 子どもが岩滝幼稚園に通っていますが、保育料・教育方針や園の雰囲気がとても良いので、できればこども園になっても、現状維持でお願いします。
- ・ 良いこども園を作ろうと思ったら、懇談会の開催場所、時間を見直して欲しい。
- ・ もっと子育て世代の声を聞くべきではないか。(例、幼稚園での降園時間を利用しての開催)
- ・ 渡された資料が、国からのこども園マニュアルで、あまり参考にならなかった。今の時点で良いので、確定していることや、こういうプラン案があるとか、岩滝こども園の資料が欲しかった。もらえると思っていたので、がっかりした。
- ・ デメリットだらけにしか、聞こえてこなかったこども園の話でした。
- ・ 利用する子ども達のことを考えながら、決めていって頂けるとありがたいと思います。
- ・ 岩滝幼稚園として建て替えをすれば良い話で、三河内や加悦方面で少ない所から、こども園を考えるべきではないのですか？ 利用している子ども達のことを考えて、進めることではないかと思います。

与謝野町議会懇談会の報告とまとめ

- ① 昨年までの議会懇談会は全町の11会場でテーマを決めずに実施してきました。「議会懇談会」の位置付けは町議会基本条例 第4条に基づいて行なうものであることを前提に踏まえ、また、今回は、議員改選で新議員7人が加わった議会構成での実施となること、しかも、改選後 初めての議会懇談会でありました。

また、6月から7月に町政懇談会が開かれた後でもあり、町民にとって緊急切実な町政課題となっている「特定のテーマ」を決めて実施することとしました。

そうしたことから、中心テーマを「小学校の統廃合」と、保育所・幼稚園、いわゆる国の制度改正に伴う「認定こども園」とし、その他の意見も聞くこととしました。

第1回目は、10月28日に野田川わくばるで「小学校の統廃合」、10月29日の2回目は、岩滝知遊館で「認定こども園」、11月6日の3回目は、加悦元気館で「小学校の統廃合」を中心に、午後7時30分から開催しました。なお、岩滝会場のテーマを「認定こども園」としたのは、岩滝幼稚園が耐震診断で改築・改修が急がれている状況にあるためでした。

- ② 今回は、3会場で105名もの大勢の参加を頂きました。その主な発言は、「小学校の統廃合」では、①統廃合の時期、②学校の規模と場所、③少人数学級、④スクールバスなど…、「認定こども園」では、①保育料、②保育時間、③建替え時期、④児童館など…、多くの意見が出され、議論がされました。

参加者から指摘や疑問・意見・要望・積極的提案などもたくさん出され、活発な懇談会になりました。また、その他のテーマや、「議会へのアンケート」などの中でも、いろんな意見や提案などもいただき、有意義な議会懇談会とすることができました。

- ③ 参加者の質問などの中で、町が進めようとしている制度上の内容や行政の詳細な情報などについて、不十分な答弁しかできなかったことがあり、議会への厳しい批判や的確な指摘もありました。

議会として、議会懇談会の目的や位置づけが「広聴活動（広く住民の声を聞き、その内容を議会でしっかりと政策化して、町政に反映させていく）」という議会基本条例の理念を深くつかめきれず、議会議員全体で十分な認識共有できていなかったことや、一方、こうした議会側の懇談会開催の趣旨が参加

者・住民に充分伝えきれなかったこと、また、私たち議会の「構え」の不充分さもありました。

加えて、今回の場合、テーマを決めた懇談会の進め方も初めての体験・模索もあり、議会の準備不足もありました。参加者・住民にご迷惑をおかけしたことは誠に申し訳なく、深く反省をしています。

4 議会にとって今回の懇談会は全体として大変貴重な体験であり、同時に、住民からいただいた数々の発言や提案などに、誠実に向き合い、この教訓を前向きに、今後の議会で活かしていくことが強く求められていると考えています。

▼ 与謝野町議会では3年前に、住民の皆さんの期待に応えるため、「二元代表制」の一つ・議会として、より開かれた議会、住民参加・住民自治の向上を図るため、政策提案できる議会をめざし、議会改革・活性化を進める「議会基本条例」を制定しました。

この具体的な課題として、議会懇談会の定期開催や議員間の自由討論、議員の研修・学習、各種団体との協議・懇談などを掲げています。

▼ 私たち与謝野町議会は、議会改革・議会活性化では道半ばであり、まだ不十分さもありますが、議会懇談会を開き、議会の中では全員協議会で議員間の自由討論も始めつつあります。昨春の改選で議員構成が変わり、議会としての資質向上への研修にも取り組むとともに、先にも掲げた課題にも取り組んでいかななくてはなりません。これらについても、住民の皆さんの協力・支援がなければできません。これからも議会活性化・議会改革に向け、全議員が議会として一丸となり、一層、頑張っていく決意です。

5 最後になりましたが、今回の議会懇談会開催にあたり、各区長はじめ、教育・保育関係の保護者の方々には、多くの住民にご案内していただきました。

ご協力・ご参加いただきました方々に対し、心からお礼を申し上げます。

今後とも、議会懇談会に限らず、日頃から議会に対し、積極的なご意見ご提案をお気軽に議会へお寄せいただくとともに、私たちの与謝野町をより良くしていくために、従前にも増してご理解とご鞭撻、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成27年2月17日

与謝野町議会運営委員会
委員長 伊藤 幸男

「平成26年度与謝野町議会懇談会」アンケート集計結果

《懇談会開催日》

野田川地域：平成26年10月28日(火)

岩滝地域：平成26年10月29日(水)

加悦地域：平成26年11月6日(木)

参加者数	105名	回収枚数	79枚	回収率	79.2%
------	------	------	-----	-----	-------

男性90人女性15人、

1. 議会懇談会に対する評価

① 配布資料は分かりやすかったですか。

評価	回答数(人)	割合(%)	合計点数	平均点数
良い	5	1.3	380 点満点中	5 点満点中
↑	4	6.6		
普通	3	34.2	175	2.3
↓	2	36.8		
悪い	1	21.1		
計	76	100.0		

② 司会者の進め方はどうでしたか。

評価	回答数(人)	割合(%)	合計点数	平均点数
良い	5	2.6	380 点満点中	5 点満点中
↑	4	13.2		
普通	3	47.4	207	2.7
↓	2	27.6		
悪い	1	9.2		
計	76	100.0		

③ 報告者の説明は分かりやすかったですか。

評価	回答数(人)	割合(%)	合計点数	平均点数
良い	5	4.1	370 点満点中	5 点満点中
↑	4	2.7		
普通	3	32.4	171	2.3
↓	2	41.9		
悪い	1	18.9		
計	74	100.0		

④ 質問に対する答弁内容は分かりやすかったですか

評価	回答数(人)	割合(%)	合計点数	平均点数
良い	5	1.3	375 点満点中	5 点満点中
↑	4	10.7		
普通	3	29.3	176	2.3
↓	2	38.7		
悪い	1	20.0		
計	75	100.0		

⑤ 総合的にどうでしたか。

評価	回答数(人)	割合(%)	合計点数	平均点数
良い	5	0.0	375 点満点中	5 点満点中
↑	4	8.0		
普通	23	30.7	172	2.3
↓	33	44.0		
悪い	13	17.3		
計	75	100.0		

⑥ 懇談会を何で知りましたか。

1 町お知らせ版	24 人	2 町ホームページ	3 人	3 FM告知放送	11 人
4 CATV文字放送	2 人	5 友人, 知人, 家族など	12 人	6 その他	26 人

(案内・PTA・学校等)

⑦ 開催回数は、

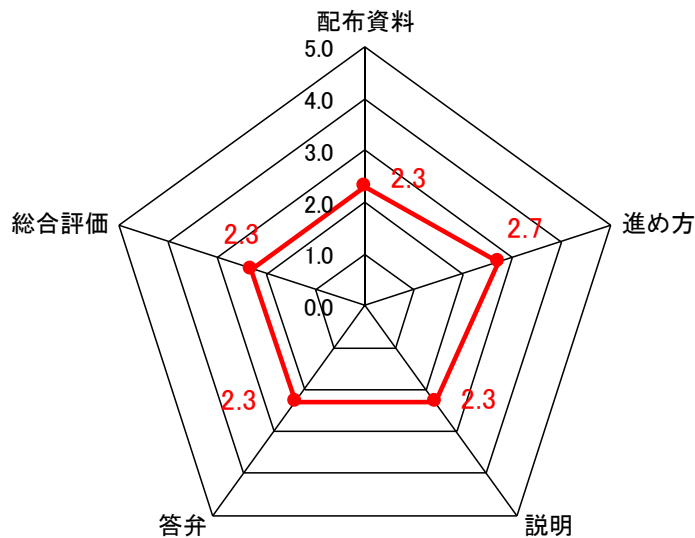
1 今のままでいい(年1回)	24 人	2 もっと多くしてほしい	25 人
----------------	------	--------------	------

(2回6人、3回2人、4回4人、6回1人、会場多く1人)

⑧ 開始時間は、

1 今のままでいい	53 人	2 早くしてほしい	4 人
3 遅くしてほしい	1 人		

*懇談会 評価レーダーチャート



配布資料	2.3
進め方	2.7
説明	2.3
答弁	2.3
総合評価	2.3